平成29年度　第2回教育連携委員会専門委員会議事録

書記　西原京子

日時　6月24日（土）　時間13：30～14：40　場所　東筑摩教育会館講堂

☆副委員長　上條常任委員　☆事務局　飯森常任委員　☆書記　西原常任委員

☆参加者　各校正副会長　35名　担当幹事　松澤先生

1. 会長挨拶　川崎会長

2. 講師　清水学さん

3. テーマ　「子どものキャリア教育」

4. 内容

Ⅰ. 企業が求める人材

◆コミュニケーション力…変化の激しい社会で課題を見出し、チームで協力して解決する力
（課題設定力・解決力）

◆価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力
（コミュニケーション能力）

Ⅱ.中学生・高校生の現実？

◆十年後の見通し…「不安」が半数以上
（今の大人に対するイメージや生き様が影響しているのでは？）

◆将来の夢…中・高生共に「安定した毎日を送る」
（今の大人の行動が生んだと考える）

◆今の大人に対するイメージ…大変そう・疲れている・楽しくなさそうが上位3位を占める。
（今の大人の姿が、子どもの夢や希望を奪っている可能性がある）

◆カッコイイ大人のイメージ…マナーがしっかりしている・好きなことに打ち込んでいる・
身近な人を大切にしている
（今の大人は‘逆‘のイメージで見られていることを認識するべき）

Ⅲ.大人への問い掛け…子どもは、親や学校の先生の‘姿‘を観て、‘真似る‘可能性が高い。
全て（人生・生活・仕事等）において健康の次に一番大切な事。

挨拶｛自分の心を開いて相手に寄り添う｝

「挨拶」は、コミュニケーション力＝対人関係力の基本中の基本。
「挨拶」を意識して継続することで子どもや相手が心を開いてくれると信じている。
‘当たり前のことを当たり前にやる‘は意外と難しいからこそ、意識して自分から
「挨拶」することを習慣化する必要がある。
「挨拶」が自然に出来ている企業や学校は健全な結果を出し続け、人間関係が
良好である。

Ⅳ.子どものキャリア教育

◆子どもに何をやらせるかではなく、自分が何をやるかが肝要
（子どものみに何かをやらせるという発想や行動は、結果として子どものために
ならない。何かをやってもらう前に、親や先生、身近な大人が率先垂範して姿を
見せることこそ、真の教育・教養ではないか。

◆憧れを抱く大人に共通している行動

⇒コミュニケーション力（≒対人関係力）、モチベーションアップ
②毎日、数分でも「活字」を読んでいる。
⇒疑似体験（≒世界観が広がる）、想像力、複眼思考、集中力、バランス感覚
③仕事や活動、趣味、感動、反省、気付き、疑問など手帳等に書く。
⇒課題発見力・解決力、自分理解（思考・志向・趣向など）
④10・20・30年後の自分の「あいたい姿」を書き出し、家の壁やトイレに貼る。
⇒自己修正力、変化の気付き、胆力…目標を定めると自分の変化に気付く。
⑤毎日欠かさず、運動を続けている
⇒健全な身体には健全な精神が宿る。その逆も真なり。

「少年よ、大志を抱け！」

※しかし、金・利己心・名声という、つかの間のものを求める大志ではなく、
人間としてあるべきすべてのものを求める大志を抱きたまえ！

以上　講演内容

平成29年度　第2回教育連携委員会専門委員会議事録

書記　西原京子

日時　6月24日（土）　時間14：40～16：00　場所　東筑摩教育会館講堂

☆副委員長　上條常任委員　☆事務局　飯森常任委員　☆書記　西原常任委員

☆参加者　各校正副会長　35名　担当幹事　松澤先生

◎教育連携…3グループ構成（1グループ　6～7名）

・グループ毎でアイスブレーキング…無言ジェスチャーで誕生日順に並び早い順が発表順とする。
・各グループに常任委員をおき、リーダー兼発表者を決める。

グループワークの方法…KJ法（親和図法）

①各チームによるテーマ設定
　例：親として子どもに何をするか？
②グループワークのゴールを設定
　例：今日から子どもに対して自分がやれることをチームでまとめて発表
③流れ
　1.付箋にやることを一人5枚程度書き出す。単語ではなく、文章で。
　2.各自、発表しながら模造紙に貼っていく。
　3.全員でグループ化し、要約をつけていく。

1グループ名…チームファースト
　テーマ　～親が子どもにできること～
　・挨拶…笑顔でおはよう！
　・ふれあい…1日1回は子供と一緒に食事をする。
　・学習…休日は子供と一緒に宿題をする。
　・親の背中を見せる…見せてから感想を聞く。
　・やさしさ…親が自分の親を大切にする。

2グループ名…SUN（太陽）
　テーマ　～子どものためにしている事、やっている事～
　・親から挨拶をする。
　・子どもの話を聞く。
　・親の姿を見せる。
　・子どもと同じ時間を過ごす。
　・子どもを甘やかさない。
　・家族のルールを作る。

3グループ名…サクラ
　テーマ　～子どもにとっての手本（見せたい自分）
　コミュニケーション…自分が他者に優しく接する姿を子どもに見せる。
　挨拶…自分から子どもに挨拶する。
　生活態度…自分が規則正しい生活を子どもに見せる。
　自己啓発…自分が勉強している姿を子どもに見せる。

※清水学さんより一言
　どこのグループも共通して単語になっている。社会人になると自然にそういう仕組みに入ってしまっている。自分の意思で動いていない大人を子どもは見ている。
　今日の話を家族にどう思うかなど伝えてみると次の対話に結びつく。
　単語になりがちだったが、発表は素晴らしかった。企業ではなかなかできていない。
　テーマに沿って行動する。具体的にアクションするイメージなど必要。
　結構難しかったと思うが、子ども達は毎日宿題があり、同じ目線で見る事が大切である
　これをきっかけに、心身ともに豊かな子ども達に育ってほしいと思います。